

報告第4号

地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について

九州運輸局より地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価について公表されましたので下記のとおり報告します。

協議会名：	みやま市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名：	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地方運輸局等における 二次評価結果	<p>評価の指標は一便あたりの乗車人員。 自己評価については、利用者の増加につながる取り組みとして市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、時刻表の全戸配布などの取組により目標を達成した系統が昨年度より増加したことを評価します。 達成できなかった系統については要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。 引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。</p>

※地域公共交通確保維持改善事業に関する二次評価の九州運輸局ホームページ掲載内容は、次ページの別添2のとおりです。

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 水上・本郷線	瀬高町の水上～清水～上庄～本郷地域を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	評価の指標は一便あたりの乗車人員。 自己評価については、利用者の増加につながる取り組みとして市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、時刻表の全戸配布などの取組により目標を達成した系統が昨年度より増加したことを評価します。 達成できなかった系統については要因を分析しそこから対応策に繋げていくことをご検討願います。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 清水・上庄線	瀬高町の清水～水上～本郷～上庄地域を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	僅かに利用者は増加したが、便あたりの利用者数が目標より少なかった。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	引き続き協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。	
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田經由①)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 現在の利用状況を維持できるよう引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 瀬高・高田線 (太神・岩田經由②)	瀬高町～高田町を太神・岩田地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	昨年より利用者が少なかった。新たな利用者を開拓するため、今後も更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (江浦・浜田・大江經由)	高田町～瀬高町を江浦・浜田・大江地域を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	目標に届かなかったが、利用が増えている。引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努め目標達成を目指す。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	高田町～瀬高町を 国道209号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	便数も多く速達性の高い系統であり、利用者から利用しやすいとの意見が多い。利便性が低下しないようにしつつ、引き続き、更なるコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田・瀬高線 (国道209号経由)	新船小屋からJR瀬高駅間を運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	新船小屋からJR瀬高駅間の4.5kmを山川・瀬高線③の最終便への接続のため運行している。回送的な運行であるため、利用者は限られている。JR瀬高駅までの利用や山川町から老人ホーム楠寿園へ訪問される方の帰宅のための利用ニーズがある。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線①	山川町の真弓公民館～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	現在の利用状況を維持できるように引き続きコミュニティバス運行に関する周知や広報に取り組み利用促進に努める。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線②	山川町の市役所山川支所～瀬高町の市立図書館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	夕方の帰宅者向けの運行をしており、定期的な利用者がいるが、利用が限られている。山川・瀬高線①と違い終点の真弓公民館まで行かないため、利用しづらいとの意見があった。そのため、令和2年4月1日より終点の真弓公民館まで運行する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・瀬高線③	瀬高町のJR瀬高駅～山川町の真弓公民館を国道443号を經由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 JR利用者が山川方面へ帰宅するために必要な系統である。目的のバス停まで時間がかかり過ぎており、JR瀬高駅バス停以外で乗車がほばないため、令和2年4月1日よりJR瀬高駅以降は降車のみとして、乗車時間の短縮を図り、利用者の利便性を向上及び運転手の負担軽減を行う。		

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果 達成状況	⑥事業の今後の改善点		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線 ①	高田町の南部及び西部地域をあたご苑から市役所高田支所を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施したが、運行ルート及びダイヤの見直しまでは至らなかった。	A	A	昨年は目標未達成だったが、目標達成した。 利便性の向上を求める意見があるため、利用者にとってより良い運行を検討する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 高田南部・西部線 ②	高田町の南部及び西部地域をヨコクラ病院前から市役所高田支所を経由しJR渡瀬駅まで運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施したが、運行ルート及びダイヤの見直しまでは至らなかった。	A	A	利便性の向上を求める意見があるため、利用者にとってより良い運行を検討する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (亀谷・竹飯経由)	山川町～高田町を亀谷・竹飯地域を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	B	目標には届かなかったが、利用が増えている。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
みやま市地域公共交通活性化協議会	みやま市 山川・高田線 (田浦・田尻経由)	山川町～高田町を田浦・田尻地域を経由して運行	市報、HP、コミュニティFMでの情報発信、市民祭りでの街頭啓発活動等を実施した。 一日無料の日を実施し認知度向上及び継続利用のきっかけづくりを行った。 利用者の声を受けて分かりやすい時刻表を作成し全戸配布を行った。 利用状況の把握及び分析を実施し、令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。	A	C	僅かに利用が増えているが、目標達成にはいたらなかった。沿線の人口は少ないが、みやま市でも特に不便な地域を通る系統であるため、コミュニティバスが必要な地域である。 令和2年4月1日より運行ルート及びダイヤの一部見直しを実施する。		
宮若市地域公共交通会議	(有)松川タクシー MGタクシー(株)	宮田・小竹線	市ホームページでの周知やバス利用促進の啓発物品の配布等を行い、新規利用者の拡大を目指した	A	C	目標値を大きく下回っているものの、利用者数・収支率は昨年比約50%増である。さらなる周知を行うことにより、新規利用者の増加を図るとともに、利用者の少ない時間帯に関しては見直しを行うことによる収支の改善を図る。	評価の指標は、年間利用者数。目標値を大きく下回っていることから利用者ニーズの把握に努めることにより協議会が設定する今後の改善点が着実に推進されることを期待します。 今後、協議会において地域公共交通計画の策定に向けた取り組みが進められることによりまちづくりと連携した持続可能な交通ネットワークが構築されることを期待します。	